従業者の監視とプライバシー保護―人権の観点から―

Employee Monitoring and Workplace Privacy Protections: From the Perspective of Human Rights

東西大学経営学部 教授 田中一郎

Ichiro Tanaka, Professor, Faculty of Business Administration, Tozai University

１．はじめに

企業の使用者は、企業秩序を定立し維持 するために、従業者を管理監督する権限を有する。

・・・・・

・和文の場合は、字数・行数および文字フォントは、４０字・３６行・ＭＳ明朝体、１０．５ポイントとする。欧文の場合、１行半角８０字・３６行・Times New Roman、１０．５ポイントとする。

・原稿本文はWord（横書き）で執筆し５頁以内。図・表は本文とは別にし、１頁以内。（全体６頁以内）

４．おわりに

・・・モチベーションの低下、CSRの観点からの社会的評価の低下など、将来的な利益逸失又はコスト負担を考慮すれば当然であろう。今後、Society5.0 1)の進展により、・・・

注

1. Society5.0とはサイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会（Society）を意味する。狩猟社会（Society 1.0）、農耕社会（Society 2.0）、工業社会（Society 3.0）、情報社会（Society 4.0）に続く、新たな社会を指すもので、内閣府・第５期科学技術基本計画において我が国が目指すべき未来社会の姿として初めて提唱された。

参考文献

堀部政男編著（2006）『インターネット社会と法 第 2 版』新世社。

Porter, M.E. & Kramer, M.R. (2011). Creating Shared Value: How to Reinvent Capitalism and Unleash a Wave of Innovation and Growth, *Harvard Business Review*, 89, (1-2) Jan-Feb, 66-77.